

1 背景と目的

- ・東京都の「首都直下地震等による東京の被害想定（R4年5月）」による練馬区地震火災による被害では、最大11,004棟が焼失すると想定されている。（令和12年までに被害を半減させることが目標）
- ・練馬区内は、老朽木造住宅が密集し、狭い道路が多く、地震発生時に倒壊や延焼危険が高い地域が存在する。

火災の被害軽減のためには、地域の初期消火力の強化が必要

- ①気軽に初期消火訓練を体験してもらい意識醸成を図る。 ②実践的な訓練を行い初期消火行動力の向上を図る。

2 特徴

- ・軽トラックベースの小型車で、住宅街や小さい公園でも訓練ができる。
- ・200Lの水を車両に積載できるため防火水槽等の水源がなくても放水訓練ができる。
- ・実際に防災会に貸与している資器材と同じものを積載している。
- ・模擬消火栓も積載しているため、実際の消火栓活用に見立てた訓練もできる。



3 実施可能訓練

- ①スタンドパイプ
道路上の消火栓の活用を想定した放水訓練
- ②D級可搬ポンプ
防火水槽や川等からの吸水を想定した放水訓練
- ③模擬消火器
家庭用や街頭消火器の使用を想定した放水訓練
- ④屋内消火栓
マンションや事業所等の自衛消防訓練

①



②



③



④



4 令和6年度訓練実績

- 訓練件数：83件
- 訓練参加人数：5,172人

(※令和6年8月上旬時点)

★防災会の防災訓練やお祭りでの
子供向けの放水体験など、たくさん
お声掛けいただいております！！